

「第三外国語としての朝鮮語A/B」の履修を希望するみなさんへ

朝鮮語科目責任者 内山政春

2024.03.29

2024年度は、諸般の事情により、「第三外国語としての朝鮮語A/B」を休講とせざるをえなくなりました。受講を望んでいたみなさんを失望させてしまうことになったこととお詫びいたします（「第三外国語としての朝鮮語中級」は春学期、秋学期にそれぞれ開講します）。

その代替措置として、以下のような条件で、第二外国語（みなさんが入学時に選択した外国語）としての朝鮮語の**一部のクラス**を第三外国語として履修できるようにします。

1) 3年生以上で、すでに卒業に必要な基礎科目4群の単位（つまりみなさんが入学時に選択した外国語）を取得済みであること。

2) 法学部、文学部、経営学部、国際文化学部、人間環境学部の学生であること。

3) キャリアデザイン学部の学生は2年生以上のSSI所属学生で、すでに卒業に必要な基礎科目4群の単位（つまりみなさんが入学時に選択した外国語）を取得済みであること（この場合は第二外国語としての履修となる）。

4) 「第三外国語」として履修可能な授業は、以下のとおりとします。

①「朝鮮語1Ⅰ/Ⅱ」（水曜日3限：新谷）＋「朝鮮語2Ⅰ/Ⅱ」（土曜日2限：乾）

②「朝鮮語1Ⅰ/Ⅱ」（水曜日4限：新谷）＋「朝鮮語2Ⅰ/Ⅱ」（土曜日2限：内山）

③「朝鮮語（1）Ⅰ/Ⅱ」（火曜日1限：富所）＋「朝鮮語（2）Ⅰ/Ⅱ」（木曜日3限：乾）

朝鮮語は、ロシア語や中国語と同じく、いわゆる「リレー方式」で授業を進めるので、かならず上記の①②③いずれかの組み合わせで履修してください（詳しくはシラバスを参照）。授業は1回目から内容に入るのので、なるべく1回目から履修してください。遅くとも2回目までには教科書を購入しておくようお願いいたします。週2回受講する前提で授業が成り立っているのので、今年度は、申し訳ありませんが、週1回のみ学びたいという要望には応えることができません。

なお、当然ながら対象者は第二外国語が朝鮮語以外の外国語である学生です。朝鮮語の能力を相当程度持っている学生は授業の趣旨からしてお断りします。また、新入生と同じクラスで学ぶ関係上、受講希望者の数によっては、履修を制限することがあります。どうかご了承ください。

上記の方法で、履修（単位とは関係ない単なる「聴講」ではなく、卒業単位「4群その他」として認定）が可能となります。

手続きは市ヶ谷リベラルアーツセンターのサイトに掲示された「【履修・手続き関係】2024年度ILAC科目/市ヶ谷基礎科目の履修登録（本登録）について_3月26日更新」の3の（2）「必修外国語以外の外国語」の履修申請について」にしたがって行ってください。

お問い合わせは、国際文化学部 内山政春 utiyama@hosei.ac.jp までお願いします。

以 上